

学 校 **東 雲**  
だより (しのめ)



TEL 31-3170 31-3180 FAX 32-1130 [http://hachinohe.ed.jp/higasi\\_j/](http://hachinohe.ed.jp/higasi_j/)

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

## 夏休みの合言葉は「Just Say “No”」!

教頭 工 藤 聡

本日の終業式で、1学期が無事終了しました。4月9日の入学式および始業式から103日目で、授業日は73日間でした。

今年度の生徒会テーマは「攻～継承から飛躍へ～」というものですが、修学旅行や市中体夏季大会（壮行式含む）、校内合唱コンクールなどあらゆる場面で、飛躍的に向上させてくれました。そして、その原動力ともなったのが、先輩たちの伝統を継承した生徒のパワー&エネルギーだったと思います。

さて、明日から夏休みですが、このパワー&エネルギーをどのように使うかが2学期に影響してきます。そこで、夏休みを迎える生徒に、「Just Say “No”」という言葉贈ります。アメリカの言葉で、「はっきりノーと言おう」という意味ですが、私は強い意志を持ち続けるための、自分自身を励ます言葉ではないかと理解しています。

残念ながら、この世の中には「無言の誘惑」が多いのが現実です。非行とか犯罪というとおおげさですが、自分の中にある怠け心、さぼりたい気持ち、ずるい考えなどもこの「無言の誘惑」の一つだと思います。勉強や部活動を怠けることも、朝起きるのがつらくてついダラダラと寝てしまったり、逆にいつまでも夜更かしをしてしまうのも「誘惑」から起こる行動なのです。

夏休みは、この「誘惑」がことのほか多くなります。そういった「誘惑」に負けないよう、東中では前述したいろいろな行事や日常生活の中で心を鍛えています。まだまだ完全とは言えません。そんな時に、「誘惑」に負けそうになる「自分の心」に「ノー」と言えるような生徒であればと思います。はっきり「ノー」と言える、それが、「Just Say “No”」なのだと思います。

「たった一言、「No」と言うだけ」ですが、このことがどれだけ勇気が必要で、しかもその後の自分の行動をシャキッとさせてくれるか、はかり知れないものがあるのだと思います。簡単なことです。誰でもできそうなことなのです。そして、実際にできることなのです。けれど、そういう簡単なことですから、かえって「いつでもできる」「たいしたことはない」と甘くみてしまい、失敗したと気がついた時には、取り返しのつかないくらいの深みにはまってしまっているのです。その原因は、それぞれの心の中にあるのです。自分の行動を決めるのは、自分しかいないということです。

夏休みにはいり、三社大祭をはじめとして、地域の夏祭りなどたくさんの方々の行事があると思います。いろいろな場所で様々な体験をすると思いますが、ひょっとしたら「誘惑」やそれに近いことがあるかもしれません。その時には、はっきり意識して「No」と言える自分になってください。保護者の皆様にも、ご協力のほど、よろしく願いいたします。（今回は、「保護者の方々へ」と言うより、「生徒向け」の文章になってしまいましたが、その意図をおくみ取りいただければ幸いです。）

## Thank you, Joe! See you someday...

東中の生徒に親しまれていたA L TのJoe Ratford (ジョー・ラットフォード) さんが、今月で2年間の勤務を終えて、イギリスへ帰ることになりました。7月17日が東中で勤務する最後の日ということで、6校時終了後、体育館で簡単な送る会を開きました。以下は、その時のジョーさんの言葉です。

東中のステージの上は初めてなので、とても緊張しています。2年間、みなさんのおかげで日本の生活に慣れることができました。校長先生、教頭先生、英語の先生方には大変お世話になりました。

2年前、日本(八戸)に来た頃は、ほくも皆さんも恥ずかしがっていて、あまり話ができませんでした。しかし、2年間で、皆さんはたくさん学び、英語も上達したと思います。今は、もう恥ずかしがる人はいませんね。ほくも、教室の外でおしゃべりしたり、部活に参加したりしました。中体連の大会や体育祭、それから3年生が修学旅行でほくの友人と東京で会ったことも思い出です。2年間、みなさんといっしょに勉強し、思い出がたくさんできてうれしいです。これからも、東中で、高校で、大学で、そして日常の生活で英語の勉強をがんばってください。私の日本語は通じていますか。みなさんにアドバイスがあります。これからは、積極的に外国に行って、英語をどんどんつかってください。私も日本に来て、日本語をたくさん間違ってきましたが、気にしないようにしてきました。

私は日本を去った後、ロシアに寄ります。2か月ほどロシアで過ごした後、10月頃イギリスに帰ります。その後は、フリーになるので仕事をさがします。もう一つ、ロンドンオリンピックを見てください。

私は、イギリスに帰ってもみなさんを忘れません。みなさんも、私を忘れないでください。

ジョーさんが東中に来ると、私の隣の席に座ることが多かったような気がします。最初から、気さくに英語と日本語をまじえて話しかけてくれました。今では、外国の人の前では極度に緊張して“石”のようになってしまう私でも、食べ物を中心にいろいろなことを話せるようになりました。

ジョーさんの凄いところはいっぱいありますが、どんなことにも臆せずチャレンジすることです。そういったチャレンジ精神が、どんな困難なことをも切り拓いていくのだなと思います。今では、2か月滞在するためだけに、ロシア語の勉強をしているということでした。こんなジョーさんに多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。いつかまた、どこかで会いましょう! (文責: 工藤)

